プログラム

G.Fr.ヘンデル(1685-1759)

二重唱　お前はたくさんの愛の矢をわが胸に放つ
オペラ「ジュリアス・シーザー」より　二重唱　愛しい人よ、美しい人よ

D. スカルラッティ(1685-1757)

チェンバロソナタ

F.ドゥランテ(1684-1755)

二重唱　メティルデ、私の宝よ

J.S.バッハ(1685-1750)

農民カンタータ《おいらの今度の殿さまは》BWV212

「バッハ」と言えば、荘厳で構成美にあふれた宗教曲をたくさん作曲した人であり、肖像画から感じ取るのは厳格でお堅い人、というイメージでしょうか。
しかしバッハには、大変ユーモアあふれた、面白くて可笑しい側面があるのです。
典礼のためのミサ曲やカンタータを作曲する一方で、とても世俗的で愛と笑いがちりばめられたカンタータも作られています。
バッハのもう一つの顔を是非知っていただきたく、私たちは一昨年秋にジョイント・リサイタルとして、
コーヒー好きの娘とそれをやめさせようとする父親のコミカルなやりとりを描いた「コーヒー・カンタータ」BWV211を演奏いたしました。

第二弾の今回は、「農民カンタータ」BWV212に取り組みます。
「ある農家の男と村娘ミーケが、新しい殿様の着任を祝い、その夫婦を誉め称えます。農家の男はミーケに ちょっぴり恋心を抱いていますが、ミーケは 果たして…?」

1742年、ドイツのライプツィヒ郊外にある小さな村に新しく着任した領主への祝宴のために作曲されたこの作品は全24曲から成り、
当時の民謡や流行歌のリズムや旋律が田舎丸出しの方言とともにちりばめられた何ともコミカルな内容です。
当時の農民の姿が目に浮かぶこの楽しい作品を、音楽劇のようなお芝居の形式にして皆様にお届けしたいと思います。
バッハも一人の人間であるという素顔を知ることで、彼の残した数多くの宗教曲への理解もまた深まるのではないでしょうか。

プログラム前半には、バッハと同世代に生きたイタリアの作曲家の作品を二重唱でお送りします。
良く知られているヘンデルの作品の他、ドゥランテは札幌で初のお披露目となる作品を紹介し、
バロックの躍動感をお伝えしたいと思います。

都合によりプログラムが変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

陣内 麻友美(ソプラノ)　Mayumi Jinnouchi

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース卒業。
札幌市新人音楽会、三岸好太郎美術館ミニリサイタル、市役所ロビーコンサート等に出演。
日本アンサンブルコンクール、リート・デュオ部門にて優秀演奏者賞、小佐野英子賞受賞。
2004年東京・札幌・旭川においてバロック音楽でリサイタルを開催する。
2014年東京・札幌にて「F.クープラン ルソン・ド・テネブル全曲演奏会」に出演、札幌にてJ.S.バッハ「コーヒー・カンタータ」を中心としたジョイントリサイタルを開催。また、同年より親子向けの演奏会、学校への音楽教室を精力的に行っている。
声楽を長内勲、宇田川貞夫、波多野睦美、小林木綿、早坂佳子の各氏に、バロック音楽を濱田芳通氏に師事。
現在、ボール・ソーヌス、札幌音楽家協議会、札幌バロックダンス研究会各会員。「ドイツの森」、アンサンブル「フィリア」各メンバー。道新文化センター、栄地区センター合唱サークル各講師。

中原 聡章(バス)　Toshiaki Nakahara

北海道教育大学大学院声楽分野を修了。
札幌市新人音楽会、三岸好太郎美術館ミニリサイタル等に出演する他、ロシア声楽曲やバロック曲を中心とするジョイントリサイタルを開催。共演する陣内とは2014年札幌にてJ.S.バッハ「コーヒー・カンタータ」を中心としたジョイントリサイタルを開催。またヘンデル「メサイア」、バッハ「ロ短調ミサ」「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」、ベートーベン「第九」などのソリストとして道内を中心とする演奏会に出演している。オペラでは、第1回帯広市民オペラにてビゼー作曲「カルメン」のエスカミーリョを演ずるほか、モーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」マゼット、チャイコフスキーの「エフゲニ・オネーギン」オネーギンなどを演ずる。
2014年10月、札幌音楽家協議会の国際交流事業として
ハンガリーに赴き、リスト音楽院ショルティホールなど
3会場におけるコンサートに出演。
声楽を長内勲、野田廣志、宇田川貞夫の各氏に師事。
現在、厚別混声合唱団指揮者。ボール・ソーヌス、Arché、
ゾンゴラの会の各会に所属。札幌音楽家協議会、国際及び日本
コダーイ協会各会員。市立札幌開成中等教育学校芸術科音楽教諭。

札幌コンサートホール Kitara

交通のご案内
●地下鉄南北線中島公園駅から……徒歩7分
●地下鉄南北線幌平橋駅から……徒歩7分
●市電中島公園下車……徒歩4分